

# 雑草防除はこれで決まり!

## 雑草防除基準

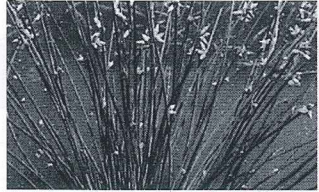
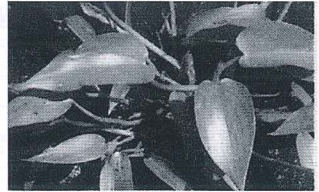
### ①特別栽培米夢たんば

型別	薬剤名	散布量	散布適期
一発処理	ジェイフレンド1キロ粒剤	1kg	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで
	ジェイフレンドフロアブル	500ml	移植後5日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで
	ジェイフレンドジャンボ	10パック	
後期	クリンチャーバスME液剤	1000ml (希釈水量70～100ℓ)	移植後15日～ノビエ5葉期まで 但し、収穫50日前まで

### ②丹波ひかみ米コシヒカリ

一発処理	トップガンR1キロ粒剤 <small>※トップガンGTからトップガンRに変わりました。</small>	1kg	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで(移植後7日が目安)	湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。移植直後から使用可能です。
	トップガンRフロアブル <small>※トップガンLからトップガンRに変わりました。</small>	500ml	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで(移植後7日が目安)	幅30m以下の水田では、畦畔からの散布で処理が可能。散布前にはボトルを軽く振る。少なくとも3～4日間は、湛水状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。移植直後から使用可能です。
	トップガンRジャンボ <small>※トップガンLからトップガンRに変わりました。</small>	10パック	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで(移植後7日が目安)	やや深めの湛水状態(5～6cm)で散布し、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。藻や浮き草が発生している場合は、拡散が阻害され薬害が発生する恐れがあるので使用をさける。
田植後体系処理	ショキニーフロアブル ＋	500ml	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。
	マメットSM1キロ粒剤 又は マメットSMジャンボ	1kg 20パック	移植後15日(稲5葉期以降)～ノビエ3.5葉期(収穫60日前まで) 移植後20日(稲5葉期以降)～ノビエ3.5葉期(収穫60日前まで)	
後期	クリンチャーバスME液剤	1000ml (希釈水量70～100ℓ)	移植後15日～ノビエ5葉期まで 但し、収穫50日前まで	散布前に落水し、水の出入りを止めて散布する。散布後は少なくとも3日間はそのままの状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。雑草の発生しているところへのスポット処理が効果的。

### ☆クログワイ・ホタルイ・コナギ対策

ショキニーフロアブル ＋	500ml	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	クログワイ、ホタルイ、コナギ等の難防除雑草が発生する場合は、これらの雑草に対してすぐれた効果のある薬剤で体系的な防除が効果的です。	 ホタルイ	 コナギ
ハイカット1キロ粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで			

※除草剤の登録には、「移植時」に使用できる除草剤もありますので、詳しくはラベルを確認いただくか、各営農経済センターまでお問い合わせください。  
 ※水もちの悪い水田では、フロアブル剤・ジャンボ剤の使用はさけて下さい。また、使用時は、湛水状態はやや深め(水深5～6cm)で散布して下さい。

## 除草剤の効かせ方のポイント!

- ①代かきは均平にならしましょう。
- ②使用適期を守りましょう!
- ③水管理をきちりおこないましょう。

## 水稻初期除草剤の使用時期に注意してください

移植前や播種前に農薬を使用する場合は、**7日前までに行いましょう**



水稻除草剤の移植前、播種前の使用時期が登録変更されています(平成24年8月より)

水稻初期除草剤の使用時期は、これまで「植代後(時)～移植4日前まで」「代かき後(時)～播種4日前まで」の適用がありましたが、これからは、移植や播種の前に使用する場合は、移植または直播の「前日～6日間」の間は、初期除草剤は散布できません。

誤って使用した場合は農薬取締法の違反であり、罰則の対象となりますので必ず守ってください。  
 ※デルカット乳剤は移植4日前まで(平成25年11月変更)

※表記の播種は、直播栽培を示しております。

(10a 当たり)

## 薬剤の特長・散布上の注意

ノビエを始め、一年生雑草から多年生雑草まで幅広く安定した効果と長期残効性を持つ一発処理除草剤です。  
 湛水状態のまま、田面に均一に散布し少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないでください。1キロ粒剤は移植直後から、フロアブルとジャンボ剤は移植後5日から使用可能です。

散布前に落水し、水の出入りを止めて散布する。散布後は少なくとも3日間はそのままの状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。雑草の発生しているところへのスポット処理が効果的。

湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。移植直後から使用可能です。

幅30m以下の水田では、畦畔からの散布で処理が可能。散布前にはボトルを軽く振る。少なくとも3～4日間は、湛水状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。移植直後から使用可能です。

やや深めの湛水状態(5～6cm)で散布し、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。藻や浮き草が発生している場合は、拡散が阻害され薬害が発生する恐れがあるので使用をさける。

散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。

極端な浅植え、活着の悪い田、散布後、急激に水温が上昇することが予想される時には薬害の恐れがあるので散布をひかえる。

散布前に落水し、水の出入りを止めて散布する。散布後は少なくとも3日間はそのままの状態を保ち、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。雑草の発生しているところへのスポット処理が効果的。